



写真コンクール

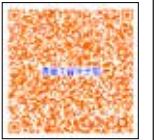


第二次募集が始まっています！
 新年号の表紙を飾るのは誰だ！？
 家族写真、組合の仲間との写真、
 風景など何でもOKです。
 たくさんのご応募お待ちしております。
 応募締め切りは10月30日です。

けんせつ

清瀬久留米

発行所
東京土建一般労働組合
清瀬久留米支部機関紙
 〒203-0054 東久留米市中央町5-10-17
 TEL 042-473-8751
 FAX 042-473-8753
 発行者 尾 芦 富 雄
 編集者 砂 川 恵



松竹分会で 防災訓練



防災は組合活動と同じ

9月27日(日)以前から計画のあった、防災訓練を行いました。準備期間もわりと長くあったので、なるべく分会の仲間に参加してもらえようと思いを巡らしました。チラシもなるべく目に留まるように：：学習は興味のありそうな話題にしよとか：色々考えながら当日を迎えることになりました。せつかく消防署の方を呼ぶので、本格的な訓練なので、他分会の仲間にも声をかけ、30人近くの参加者になりました。

た。AEDの使い方や、消火器の使い方など、みなさん真剣な顔で体験を楽しんでいる様子でした。二時間の訓練の後、防災にちなんで、「チームN.A.M.A.Z.U」と「どけん火災共済」のメリット説明をし、意見交流。その後懇親会で交流を深めました。さて、災害から身を守る、AEDなどを使い誰かを助けようという意識を持って、組合活動と同じだと思えます。まず自分を守る、家族を守る、仕事の仲間を守る、そのための活動だと思えます。今回ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

事前には宮崎分会長に誘われていました。3日前から熱が出てダウンしておりましたがなんとか回復し、参加させて頂きました。始めにAEDの処置の仕方を消防署の方に説明を聞き、参加者2グループに分れ、いざ実践。参加者皆様真剣に取り組みました。わからない事は、皆さん積極的に質問して、理解されました。是非、各分會や後継者対策部でも取り組んで行けたら良いです。松竹分会の皆様、とても良い経験と交流会、ありがとうございました。

の場面で出来るかと言われるら、中々出来るかわからないけど：人の命を救う事が出来れば嬉しいです。次は、消火活動。消火器を手に持ち噴射！新たな知識を得ることができました。講習が終わったのちに懇親会。今日の防災訓練の話をしながら色々な交流が出来ました。

僕自身とても参考になりました。是非、各分會や後継者対策部でも取り組んで行けたら良いです。松竹分会の皆様、とても良い経験と交流会、ありがとうございました。

9月27日(日)多摩北ブロック福島震災復興住宅デーボランティアに、昨年と同じ子ども工作の手伝いで参加しました。近隣の4支部と福島県の3団体の共同開催で、支部からは3名、全体で64名の参加でした。



上：AEDの取り扱い方法を学び、この後実践下：「火事だ！」の大きな掛け声で消火訓練



当日は地元の小学校の運動会と重なり、子供の参加は少なめで

したが、何組かの若い親子連れが本棚作りに挑戦。初めは上手く釘を打てなかつた子も、親の手本に最後は一人で完成させた女の子。他の男子より上手でした。「おじさんありがとう」親子で丁寧なお礼を。また来年もきてねと約束して福島を後にしました。わずか3時間のとりくみでしたが、久しぶりに充実した一日でした。

親子で挑戦本棚作り

滝山分会 高橋哲也

中間決起で恒例の芦ヶ久保へ



9月27日(日)秋の拡大中間決起という事で、元塩分会では恒例行事となりつつある、秩父の芦ヶ久保渓谷国際釣り場に出かけました。参加者は子供を入れて14名と昨年より少なかったが、朝方までは霧雨だった天気も、帰るころにはすっきり晴れて、暑くなく寒くもなく絶好の行楽日和に恵まれました。

釣りは都会の喧騒を忘れて童心に帰ったように夢中になれるから楽しい。釣ったマスはさばいてくれて、半分はBBQで塩焼きにして食べ、残り半分は持ち帰りました。今年のマスは例年より小ぶりでしたが、皆笑顔で、美味しさと食べていました。朝道の駅で買った地元産のしいたけも食したが、とても美味しかったので、帰りに買って帰ろうと道の駅に寄ったが、残念

元塩分会 小園照美



積極的に参加しよう

三葉分会 笹原康弘

みなさんご存知でしょうか、消防士の数が減っていることを。人件費削減の波はここまできています。これまで出来ていた消火活動が縮小されるかもしれません。救急車は空いています。

消防車が必要になります。車がある前に、出来ることあります。現場の状況を正確にわかりやすく伝える、初期消火、AEDの使用等々、私たちでも出来ることはいくつもありま

も、ありません。普段時にはあたりまえに出来ることでも、いざ緊急時には何をしようのかパニックになってしまうものです。そうならない為に事前準備が大切です。防災訓練は、分会の枠を飛び越えてでも積極的に参加しましょう。不測の事態には、お隣さんやその地域の人々、組合の仲間と共に協力し合って、被害を最小限に抑えたい。その為には私たち国民の「不断の努力」が必要です。第二回、第三回と続けて行きましょう。

青空分会 川本尚之



平和な日本を願う

戦争はいや！東久留米市民パレード

9月6日、雨の中16時から行われた市民パレードに、400人以上が集まりました。



上：雨にも関わらず400人を超えた参加者。パレードの長い行列が沿道の市民にアピール。
下：カサで埋め尽くされた市役所前の広場

国会を取り巻く廃案行動 地域代表の発言は、これ

行進の時間が迫るにつれて、広場は傘を差しながら熱心に聞き入る人達でいっぱいになりました。その後、幸い小雨になり足の悪い人、子供連れの人を先頭にゆっくり行列を二つに分け行進が始まりました。途中、赤信号を待ちながら車の窓から「自分も同じ

戦争をしない国へ

ストップ戦争法案！きよせ市民の会

9月6日清瀬アミューズホール7階にて、琉球新報東京支社報道部長、島洋子氏の「戦争法案と沖縄」と題した講演会が開催されました。160人以上の参加者で会場は満員となりました。米軍基地の7割以上が沖縄にあり、辺野古への



基地移設問題、危険なオスプレイの問題や県民の民意、翁長知事と政府との闘いの話しなど大変良い講演でした。

清里分会の埴田さん(原告団副団長)が発言。早期解決を願うだけでなく、仲間の協力をとの訴えに、支部の仲間が真剣に聞き入る。

仲間の切実な訴え

首都圏建設アスベスト訴訟

原告団交流会

9月13日(日)に清瀬久留米支部事務所30名の参加で行いました。支部からは原告団副団長の埴田さん(清里分会)と労働対策部員の合計10名が参加しました。



はじめに、村山大和支部原告団の吉田重勇さんからあいさつがあり、本部井澤常任中執から、アスベスト訴訟のこれまでの経過と今後のたたかいの方針として、一時間



9月6日(日)に清瀬久留米支部会館で、足場特別教育の講習を行いました。

足場特別教育

講習会

休息を挟んで後半は、石垣副委員長に講師を交代し、工事用設備や機械、器具や労働災害の防止、関係法令などの講習でした。墜落事故が非常に多いので、労働災害の項目は時間を多めに取り、墜落事故を事前に防げるよう、受講者も真剣に話を聞いていました。

求人情報
事業所名 (有)村岡工業
代表者 村岡史弘
所在地 東京都東久留米市八幡町
電話番号 090-9821-0941
職種 左官 人員 1人 働き方 常用
働き先 町場 条件等 経験 普免

湧水

自分が大工になりたいと思ったのは、小学校低学年の頃。父親も大工をやっていた、たまに話を聞いて自分も大工になりたいと思っていました。

将来の夢



父親は、自分が大工に興味を持っていて、休日には、釘の打ち方やのこぎりの使い方などを教えてくれました。

完成した家を見た時の達成感は、職人だけの特権だと思っています。いつか自分で自分の家を建てて、家族を幸せにしたいです。

9月6日(日)に清瀬久留米支部会館で、足場特別教育の講習を行いました。前半は北島委員長が講師でした。足場の種類や材料、組立て方、解体の仕方を、時には絵や文章などを書いて、とてもわかりやすく説明して頂きました。

受講後のアンケートには「大変わかり易く勉強になりました。」など好評な意見が多くありました。

次回、支部開催の講習を開催する際にも、多くの支部の仲間を活用してもらい、仕事に活かせるとりくみにしていきます。

書記局 永井駿介

滝山分会 三浦竹史